



国道421号佐目バイパス開通
2026年3月20日（関連記事8ページ）



悲願成就 佐目バイパス開通
永源寺ダム湖畔で整備が進められてきた国道421号の佐目バイパスが3月20日、開通しました。石樽トンネル開通後、交通量が急激に増加しましたが、特にこの区間は、道幅が狭く急カーブや坂道があり大型車の離合が困難で、たびたび交通障害が発生しており、バイパスによる整備が悲願でもありました。開通式には、三日月大造滋賀県知事や小椋正清東近江市長のほか、国会議員や県議員、関係地区の自治会長らも出席され、工事の完成を祝いました。佐目バイパスは、永源寺相谷町と佐目町を結び延長480メートル。事業費約38億円。工事期間中に法面の崩壊があり、着工から概ね10年かかり完成しました。

編・集・後・記
日頃の運動不足を解消するために何かを始めなければ・・・自ら進んで行動することはできなくても仲間と一緒になら何かできるような気がする。永源寺高野町では年間をとおして色々な行事が行われ出来るだけ参加をするように心がけている。その中の一つに大山永源寺裏山にある「永源寺御山四国八十八ヶ所霊場巡り」の石仏に新調したよだれかけを掛け替える行事がある。今年は3月22日に行われた。地元を始め、永源寺相谷町、山上町、遠くは大津市や五個荘地区からもボランティアの協力があって総勢15人でコースを巡った。ここは、明治33年に四国八十八ヶ所の巡礼を果たした地元の女性8人が、もっと身近に八十八ヶ所の巡礼が出来ればと寄付を募り、石仏90体を巡るコースを完成させたという歴史がある。当日を迎えるまでには、有志の人たちよってコースの下見が行われ、倒木はチェーンソーなどによって伐採し木の葉も除去された。よだれかけは、端切れを提供される人。集まった端切れを石仏にあわせて裁断しミシンで仕上げられる人など。石仏は殆どが「一石二体」で石の表面から浮き出るように立体的に彫られているため、よだれかけのひもの長さが2メートル近くはいるという。起伏の激しいコースを歩き赤や青など色とりどりのよだれかけを2時間ほどで掛け替えると山の中の石仏が一瞬にして華やかになる。この日展望の丘からは、滋賀県が整備をした開通したばかりの国道421号佐目バイパスが満水のダム湖に映えて素晴らしい眺めとなった。今年も各寺々の名称が掲載されたコース表に「満願成就の印」をいただくことができた。(K)

農業で地元を盛り上げたい 永源寺で子育てしたい

しばた農園 柴田達也さん（青野町）



Uターンして青野で農業をしています。今日は、農業の魅力を皆様にお伝えできればと思っています。

わたしは、大学卒業後、就職しましたが農業に対して非常に興味があり、悩んでいときに妻に後押しされ、3か月で仕事を辞め大

中の農家で修業した後、農業大学校へ1年間通いました。農業を選んだのは、農業で地元を盛り上げたい、そして、緑豊かな永源寺で子育てがしたい、と思ったからです。子どもの頃、自然に触れて育ち、ゼロから遊びを考えながらやっていたことを思い出します。

農業の魅力は4つ。ひとつは、自然の強さや季節の移り変わりが感じられることです。台風、大雨、干ばつなど、自然の前では無力さを感じます。そうした中で、どうやって継続していくかを考えながらやっていくのも魅力のひとつです。ふたつ目は、自分の工夫が作物の品質や収穫量に反映されることです。私は土作りにこだわっています。子育てと同じで、手をかければかけるほどいい土ができていきます。3つ目は、地域の景観と環境を守ることができることです。家の前が田んぼです。田植え時期は真みどり、秋になると黄金色に染まる、いい風景だと感じています。農家の皆さんが管理されているお陰で景観が守られていると感じています。わたしも農業者の一員として自覚を持ってやっていきたいと思っています。最後の4点目は、子どもたちへの食育です。就農して2年目から市内の小学校で食育をしています。野菜がどう作られ、どう届くのかを話すと、子どもたちは、たいへんな中で育ってきたんだとストレートに感じてくれます。自分が作った野菜を子どもに食べさせることもでき、地域に寄り添いながら仕事ができていると実感しています。

24歳で独立し現在27歳。ビニールハウス13棟で、ほうれん草と小松菜を栽培するほか、ブロッコリー、トウモロコシを露地で栽培しています。米作りは地元の方に教えていただきながら栽培しています。毎朝3時に起床しますので、夜8時半には子どもとともに就寝しています。かなりハードなスケジュールです。

わたしの夢は、農業を通じて永源寺の名を全国に広げたい。寒暖差も激しく、野菜作りに適しています。水もきれいで野菜の質も高くなると評価をいただいています。永源寺の魅力を農業から発信していけたらと思っています。地元の景観は、農業者の方が守ってきてくれました。自分も農業をすることで、地域の景観を守っていく一員でありたいと思っています。農業の担い手を増やすことによって、定住につながります。農業こそが、永源寺の人口減少対策になると思っています。

離れて、戻って、 永源寺で生きるという選択

㈱YOTUBA 緒方友香さん（山上町）



高野で生まれ、大学進学をきっかけに地元を離れました。正直、地元に戻るとは思ってもいませでした。

永源寺は安心できる場所ではありませんが、可能性を広げるなら外の世界へ出るものだと思います。永源寺で働くという

未来を想像できませんでした。

しかし、結婚が決まったとき、住む場所を真剣に考えました。皆さんは、子育てする場所を何で選ばれますか。便利さや仕事を優先しますか。わたしは、家族が近くにいる安心感を選び、主人の理解もあり永源寺に戻る決断をしました。

永源寺の強みは、自然に恵まれ、地域の方々の温かさがあり、人とのつながりや見守りなど、安心できる環境があることです。一方で、若い世代が少ないことや子育ての情報が少なく不安を感じることも多くありましたが、課題は可能性の裏返しともいえます。出産を機に勤めていた会社を退職し、健康にかかわる事業の資格を取得し、山上町で起業することができました。これも家族や主人の支えがあったからこそです。現在は、心と身体の健康を支えることができる事業を中心に活動しています。

田舎では限られた仕事しかできない、そう思われている方が多いのではないのでしょうか。今は、リモートワークやオンラインなど、場所に縛られない働き方が広がっており、リモートで全国や海外の方とつながることができています。都会でなければ仕事ができない時代ではありません。「永源寺でも挑戦できる」をわたし自身が体験し実感しています。高速道路も近く、地理的に便利で、自然があり安心できるつながりがある、これが永源寺の強みであり、可能性を秘めていると思っています。

ただ、その魅力が伝わっているのかが課題です。自然の中で子育てをしたい方、リモートで働ける方、心身を病まれ田舎での仕事を望んでいる方などに、永源寺での暮らし方が伝えられているのかが疑問です。行政だけでなく、わたしたち地域のひとりひとりが発信者になれるのではないかと感じています。情報を発信することこそが定住、移住促進につながるのではないかと感じています。

永源寺で子育てをして良かったと思っています。安心しながら挑戦できる場所でもあります。この地域で感じる安心が、さらに形になっていけば、永源寺は子育て世代にとって魅力ある地域になっていくと思います。永源寺には安心という大きな土台があり、そこに挑戦を応援する空気が重なれば未来は変わっていくと思います。永源寺にはまだまだ可能性があり、この可能性を次の世代へつないでいけたらと願っています。

永源寺地区まちづくりフォーラム

小椋市長もパネラーに加わり行われたパネルディスカッション



住んで良かった永源寺といえるまちへ

永源寺地区での出生数が激減している現状と課題を共有し、移住経験者の体験談やパネル討論を通じて、少子化対策として、地域で何ができるかを考える「まちづくりフォーラム」が、2月23日、永源寺コミュニティセンターで行われました。

6回目のフォーラム テーマは、移住定住

まちづくりフォーラムは、コミュニティセンター、まちづくり協議会、自治会連合会の役員で構成する企画会議で毎年テーマを検討して行われているもので、今年が6回目となります。

今回のフォーラムでは、冒頭に司会者から、今年の小学校入学児童が市原小・山上小合わせて19人であり、直近の永源寺地区での出生数は一桁台が続くという現状に触れ、対応策として「子育て世代の移住定住につなげるために地



基調提案とパネル討論を進行する上田洋平さん

域として何ができるかを考える機会としたい」との問題が提起されました。

万年無事、100年で生きていける地域をつくる

基調提案では、滋賀県立大学地域共生センターで地域学を専攻する上田洋平特任講師が、「暮らしがなくなるまちをつくる」をテーマに、「百年千年続いてきた地域には、受け継がれてきた自然、歴史、人の恵みを巡り合わせ存続してきた暮らしがある。万年無事が続いている。人口減少は避けられないが、つながり合うことで若い人たちが、ここで生きていける地域をつくっていくことが必要」と強調されました。

移住に最適 空き家の活用方法

続いて東近江市住まい創生センター代表理事の大橋恭介



住まい創生センター代表理事の大橋恭介さん

さんからは、住まい創生センターの業務内容や空き家になった物件の実態と相談内容などについて、「空き家問題は全国的な社会問題。様々な事情から判断が遅れ放置されているケースが多いが、空き家を買いたいという相談も増えている。家は大切な財産。早めに相談していただくことが重要」と話されました。

初企画が好評 移住経験者の体験談

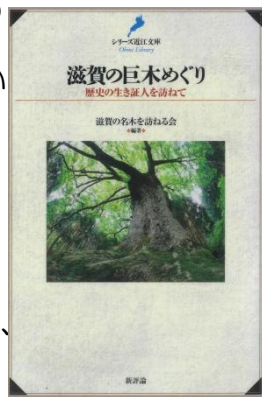
今回のフォーラムでは、専門家や行政職員からの基調提案だけでなく、移住経験者2人からの体験発表が行われ、パネル討論で小椋市長は、「若い二人から、『こんな豊かな人生を送れる場所はほかにはない』という話しを聞いて頼もしく感じた。少子化対策、空き家対策など真正面から捉え、強く豊かなまちを目指していきます」と話されました。

永源寺地域が登場する本・雑誌

永源寺図書館提供

『滋賀の巨木めぐり 歴史の生き証人を訪ねて』
滋賀の名木を訪ねる会／編著 新評論

自然の豊かな滋賀には、たくさんの巨木・名木が残っています。この本には、100本以上の巨木が掲載されていて、永源寺地域からは「政所のチャノキ」「大皇器地祖神社のスギ」「信長馬繋ぎのマツ」が紹介されています。いずれも樹齢300～500年の木で、地域の歴史と深く結びついたものばかり。
より深く地域を知るきっかけとして、訪ねてみてはいかがでしょうか。



『ふるさと再発見の旅 近畿1』
志摩 千歳／文 清水 安雄／写真 産業編集センター

「ふるさと」という言葉から連想されるような、懐かしい風景が残る地域を紹介する本。東近江市からは能登川地区の伊庭や五個荘金堂とともに、惟喬親王の伝説に彩られる「木地師の里」として君ヶ畑が大きく紹介されています。
いつまでも守り継ぎたい風景がすぐ身近にあることに、あらためて気づかれます。



まちの話題



こんにちは 栄養士です



麺類の汁、 飲み干していませんか？

市の健診で、血圧が高い方にどこから塩分をとっているか調査した結果、
特に男性で **麺類の汁と卓上調味料** から塩分を摂っている人が多いことがわかりました

しょうゆや
ソースなど

汁は2口まで。

麺類の汁には、塩分が多く含まれています。

〈ラーメンの場合〉



汁を全部飲む
5～6g



2g減塩



2口だけ飲む
3～4g

汁を残すことは健康への第一歩です！
今回は、卓上調味料の減塩方法をご紹介します。

東近江市保健センター 管理栄養士

愛知川上流の渓流釣り 例年より1か月遅れて解禁



愛知川上流では、例年より1か月ほど遅れた3月28日、渓流釣りが解禁となり、朝早くから多くの釣り客でにぎわいました。釣り客は「解禁を待ちわびていましたが、その分暖かくなり楽しんでいます。水は綺麗ですし、自然が残っていますので本当に良いところだと思います」と話されていました。
奥永源寺漁業組合では、毎年解禁前に放流や駐車場整備が行われていますが、雪の影響で十分にできないこともあることから、今年は解禁を1か月延長されました。「まだまだ追加放流も行います。景色も最高ですので、奥永源寺で楽しんでいただき、地元も盛り上がりそうです」と話されていました。

大学生との楽しい交流 子どもスポーツチャレンジ講座



3月7日、永源寺体育館で子どもスポーツチャレンジ講座が開催されました。体力づくりと仲間づくりを目的に開催されたもので、この日は小学生30人と保護者、びわこ学院大学スポーツ教育学科の学生さんも参加いただき、前半は東近江市発祥のニュースポーツ「ネットでボンボイ」を体験。後半はびわこ学院大学竹内先生と学生さんによる運動遊び「じゃんけんサッカー」「スポーツリバーン」で体育館を元気に走り回りました。
小学生の頃は、日常の遊びの中で「素早い動き」が大切と話されました。参加者は大学生のお兄さんお姉さんとの交流で楽しい時間を過ごしました。

子供の読書活動優秀実践校に 市原小学校が文部科学大臣表彰



長年にわたって推進されてきた「地域と連携した読書活動」と「学校図書館を活用した授業づくり」の実践が認められ、市原小学校が、文部科学省から「子供の読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞されました。
今回の表彰は、全学年で行っているボランティアの皆さんによる「さわやか読書」、親子での読書体験、図書委員会を中心として行われている読書イベント、地域の人々が活躍する地域学習などの取り組みが認められたものです。受賞を受け江畑教頭は、「子どもたちが本を通して豊かな心を育めるよう、より一層読書活動を推進していきます」と話されました。

愛知川上流域のフィールドが 龍谷大学新設学部の研究拠点に



東近江市と包括連携協定を結ぶ龍谷大学は、来年4月に新設予定の「環境サステナビリティ学部」と「情報学部」の研究拠点に、本市が昨年12月に制定した森の文化推進条例に基づいて設定した区域「森の文化フィールドミュージアム」を指定することを表明されました。
東近江市では、森里川湖のつながりや人と自然とのつながりを生かしたまちづくりを目指して、森の文化推進条例を制定。森の文化フィールドミュージアムは、愛知川上流域で集落や暮らしとの関わりが深い森林地帯約3800畝を区域に設定されたものです。(小椋市長と握手を交わす龍谷大学の安藤学長)

永源寺 **岩魚の里**

ボンボンド

釣る・遊ぶ・食べる！

いわな・あまごの直売 釣り・つかみ取り・BBQ

滋賀県東近江市甲津畑町67
TEL 0748-27-2072
営業時間 7:00～17:00
年中無休(1月1日のみ休み)

永源寺中学校大規模改修工事竣工



長は「校舎そのものが、地域や環境を考

令和6年8月から進められてきた永源寺中学校の大規模改修工事の全てが完了し、3月18日に竣工式が行われました。

旧校舎は昭和51年の建築で老朽化が著しかったため、新たに建て替えられ、併せて特別教室棟やユニティハウスも改修。それぞれの棟を渡り廊下で繋ぎ、誰もが使いやすいように整備されました。また、新校舎にはエシペーターが設置されるなど、バリアフリー化にも配慮されています。

新校舎は、鉄骨2階建て、延べ床面積1594平方メートル。内装は天井や床、腰壁、建具など至るところに木材を使用し、木の温もりが感じられる校舎となっています。

竣工式で、小椋市長は「校舎そのものが、地域や環境を考

木の温もりを感じる校舎に

特別教室棟・ユニティハウスも改修

える生きた教材になることを願っています」とあいさつされました。

また、高橋謙一校長は「この校舎を活用し、共に歩み、共に伸びる学校を目指して、生徒たちが主体的に励み学びを深めていくことができる教育を進めていきます」と述べられ、最後に生徒会長の赤松嬉空(うらら)さんは「新しい校舎は、木の温もりや香りが感じられ、心がとても落ち着きます。この充実した環境の中、私たちの可能性をもっと高めていけるよう日々の学習や部活動行事に全力で取り組んでいきます」と喜びを語られました。

新校舎は、昨年3月に完成し、生徒たちは4月から新しい学び舎で学習されています。

新校舎の建築、特別教室棟・ユニティハウスの改修、旧校舎の解体、駐車場・駐輪場などの外構工事を含め、工事費は13億4800万円。



廊下の内装は、木材をふんだんに使用し木の温もりが感じられます



綺麗になった特別教室棟の理科室(上)と、ユニティハウスの武道場(下)



新校舎の教室(上) 来客用昇降口(下)



まちのお巡りさん

12年間、ありがとうございました



市原駐在所でお世話になった吉田博樹です。この度の人事異動で、長浜警察署に転勤することとなりました。

例えば12年前、市原駐在所に赴任してきたことが昨日のように感じられます。長く勤務させていただいた分、永源寺地区にはたくさんの思い出があります。様々な事件、事故の取り扱いや、苦勞したことも多々ありますが、それよりも思い出されるのは親切にいただいた皆さんの笑顔です。巡回連絡で各戸を訪れた際には、どのお宅でも暖かく対応していただきました。交通安全教室や、防犯教室の場においても、皆さん真剣に話を聞いてくださいました。市原小学校では、交通安全教室や防犯教室のお礼として、子どもたちから感謝状や寄せ書きをもらいました。大切な宝物です。

まだまだ書ききれないほどたくさんの思い出があり、例えば本当に幸せな12年間でした。昨今、人と人のつながりが希薄となりつつある世の中において、永源寺地区は人情に厚い素晴らしい土地です。この地で勤務できたことは、私の何よりの財産であり、誇りです。

最後になりましたが、12年間無事に努めることが出来たのは、皆さんのおかげです。長浜警察署でも精一杯頑張っていきます。今まで本当にありがとうございました。

令和6年に警察官になり、今年で2年目となります。昨年の1月に警察学校を卒業し、東近江警察署に配属され、能登川駅前交番で勤務をしておりました。

12年間お世話になった市原駐在所の吉田博樹さんが転勤され、新しく黒内康介さんが赴任されました。警察官2年目の20歳です。

昨年、永源寺駐在所に赴任された伴新之助さんも29歳。一昨年赴任3年目の政所駐在所の飯山健一さんも30代。

若い3人の巡査が、永源寺地区の安心安全を守ってくれています。

どうぞ、よろしくお願ひします 市原駐在所に黒内康介さん



今年度から市原駐在所に赴任してまいりました黒内康介(くろうち こうすけ)と申します。

平成17年生まれの20歳です。出身は甲賀市で、趣味はサッカーです。

令和6年に警察官になり、今年で2年目となります。昨年の1月に警察学校を卒業し、東近江警察署に配属され、能登川駅前交番で勤務をしておりました。

まだまだ至らない点がたくさんございますが、皆さまの安心・安全を守れるよう一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひいたします。

朝の光、雨の匂い、風の音。
四季の移ろいを、菓子というかたちに。

御菓子司 川口屋老舗

営業時間 8:00~19:00
電話番号 0748-27-0053
滋賀県東近江市山上町2928-1
定休日 火曜日

web site 

